

## 第2章

# 各学年の総合人間科の取り組み

## 第1節 中学1年生

### 生き方を探る I 「出会い」から人生を考えよう

仲田 恵子・鈴木 善晴  
佐光 美穂・加藤 容子  
高橋 伸行

**【抄録】** 中学1年生では、『生き方を探る』の大テーマのもとに、サブテーマとして『「出会い」から人生を考えよう』として、職業選択を近い将来の自分のものとしてとらえるできるよう取り組んだ。今年度はSSHを意識して、今後6年間学ぶ基礎力と身につけようと、メモの取り方やマインドマップなどにも取り組んだ。

**【キーワード】** 生き方 職業選択 基礎力 マインドマップ キャリア

#### 1. テーマと目標

##### (1)テーマ 生き方を探る I

－「出会い」から人生を考えよう－

##### (2)学年の目標

本校に、中学1年生で入学してきた生徒は中高一貫校のため途中で目標を見失いがちである。そのため早い段階で社会で働くことについて学ぶことは、その後生徒が学校生活を送る中で何をしなければならぬかを考える一つの指針となる。職業選択が大学を卒業するときだけ考えるものではなく、近い将来の自分のものとしてとらえるようになる。

そのため中学1年生では6年間使う基本的な能力を身につけるとして、メモの取り方、調べ方、アポの取り方、質問の仕方、手紙の書き方、まとめ方などを丁寧に行った。そうして身につけた力を使って基礎力の上に成り立つ、自分が興味関心のあることについて探究する力が身につくと考えた。

そして、仕事に焦点を当てた。前期の企画、後期のFWもなぜその人がその仕事を選んだのか「生き方」に焦点を当て、できる限りその人の自分史や職業選択の過程を聞き、自分の将来に役立てるように行った。

#### 2. 学習方法

4、5月メモの取り方、マインドマップ、友人へのインタビューを行い、今後使う基本的なことを学んだ。5、6月は外部から様々な職業の人をお呼びして、インタビューを行い、その時の司会進行や案内、時計係など作り、自分たちで会が運営できるようにした。その後11月

のフィールドワーク（FW）に向け、職業調べを行ったり、夏休みの宿題で新聞の切り抜きを行ったり。夏休みが明け、フィールドワーク（以下FW）のアポイントメントを取るために電話のかけ方、依頼状を書き、FWの下調べを行ったり後、FWを行った。FW終了後は礼状書き、研究集録まとめ、FW発表会を行い、1年間行ってきたことをまとめた。

#### 3. 活動内容

4月14日

ノートテイキング

4月23日

マインドマップ

5月7日

『様々な職業の人からお話を聞きインタビューをしよう』インタビュー準備

5月14日

『様々な職業の人からお話を聞きインタビューをしよう』送付用質問書き

5月28日

『様々な職業の人からお話を聞きインタビューをしよう』質問内容の発表会

6月11日

『様々な職業の人からお話を聞きインタビューをしよう』

7月2日

職業に対して興味関心のあることを調べる①

7月9日

職業に対して興味関心のあることを調べる②

9月3日

9月10日	F W準備①電話かけの下書き	11月26日	研究集録執筆②下書き2
10月1日	F W準備②アポ取り	12月10日	研究集録執筆③清書
10月22日	F W準備③アポ取り完了and質問事項	1月14日	F W発表会準備
11月5日	F W準備④依頼状完成	1月21日	F W発表会①
11月12日	F W準備⑤個人研究 (5限) F Wのやり方 (6限)	2月4日	F W発表会②
11月13日	F W本番	2月18日	優秀者発表会1時間
11月19日	研究集録執筆①下書き1	3月4日	中1が高3を囲んで話を聞く会
		3月11日	1年間のまとめ 小論文

#### 4. 仕事名 (テーマ) とフィールドワーク先

仕事名	フィールドワーク先
スポーツインストラクター	メガロス千種
歯医者	阪本歯科
薬剤師	グリーン調剤薬局
薬剤師	ドリーム薬局
バレエダンサー	ル・シェル・バレエアカデミー
産婦人科	聖霊病院産婦人科
スポーツリハビリトレーナー	富田整形外科
外科医	四軒家整形外科クリニック
調停委員	調停委員 (名古屋地方裁判所)
環境保護団体	名古屋市野鳥観察館
天文学者	名古屋大学理学研究科天体物理学研究室
大学教授	名古屋大学大学院環境学研究科
パイロット	中日本航空株式会社
和菓子職人	不朽園
教師	刈谷工業高等学校

仕事名	フィールドワーク先
臨床心理士	名古屋大学教育発達科学研究科
ロボット工学	名古屋大学工学研究科マイクロナノシステム工学専攻
医療機器	名古屋大学工学研究科マイクロナノシステム工学専攻
化粧品研究者	名古屋大学医学部附属病院歯科口腔外科
エレクトーンプレーヤー	名古屋音楽大学電子オルガンコース
幼稚園	如意幼稚園
科学者	産業技術総合研究所中部センター 先進製造プロセス研究部門
国家公務員	東海財務局広報相談室
科学館	とよた科学体験館
医者	掛川クリニック
医者	庄内病院
まんが家	総合学園ヒューマンアカデミー名古屋校
小学校教員	片葩小学校

仕事名	フィールドワーク先
臨床心理士	名古屋大学教育発達科学研究科
外交官	名古屋カナダ領事館
薬剤師	パワーステーション薬局
小学校教員	砂田橋小学校
イルカの調教師	名古屋港水族館
小学校教員	名古屋市立清水小学校
医者	鈴鹿中央総合病院
まんが家	総合学園ヒューマンアカデミー名古屋校
パイロット	全日空運航本部大阪常務センターB767乗員部
パン屋	BAKER B・H・O
水産研究者	愛知県水産試験場
小学校教員	名古屋市立緑小学校
食品関係	愛知県食品工業技術センター
歯科医	ミッドランドスワン歯科
研究者	名古屋大学大学院理学研究科物質化学専攻物質物理化学
大学教授	名古屋大学農学部森林保護学
ビオトープ管理士	名古屋大学農学部動物管理学研究室
獣医	東山動物園
塾講師	公文常磐教室
医者	武内医院
盲導犬訓練士	中部盲導犬協会（寛政町訓練センター）
新聞記者	中日新聞社社会部教育班
気象予報士	名古屋地方気象台
バレエショップ店員	チャコット
警察官	千種警察署警務課
研究者	名古屋大学大学院環境学研究科
ケースワーカー	守山市民病院

仕事名	フィールドワーク先
テニスプレーヤー	テニスラウンジ緑校プロテニスコーチ
設計士	藤井建築空間設計
新聞記者	中日新聞社社会部教育班
国会議員	牧義夫事務所
アナウンサー	東海テレビ放送 アナウンス部
塾講師	名進研 徳重校
塾講師	名進研 当知校
医者	ひでき・ゆかりクリニック
獣医師	中郷どうぶつ病院
小学校教員	御器所小学校
小学校教員	瑞穂小学校
保育士	松操保育園
塾講師	慶桜個別指導学院知立南校
チャイルドライフスペシャリスト	名古屋大学医学部附属病院小児科病棟
プロ野球選手	中日ドラゴンズ球団寮昇竜館
医者	佐久間医院
検察官	名古屋地方検察庁
薬剤師	名古屋記念病院
特別支援教員	千代田橋小学校つくし組
歯科医	もり歯科医院
気象予報士	名古屋地方気象台
スーパーの店長	フランテ覚王山店
塾講師	京進八事日赤校
イルカの調教師	名古屋港水族館
ダンスインストラクター	熱田の森文化センター

## 5. まとめと今後の課題

最後に、生徒たちが中学1年生の総合人間科を通して学んだ「生き方」について、またフィールドワークを実施する過程で体験した様々なことについて、どのように評価し、どのような感想を持ったかについて以下にまと

める。研究集録などで生徒たちは次のように述べている。

「今回のインタビューはとても貴重な体験だったと思う。なぜなら自分が将来なりたい仕事をしている方に直接お話を聞けるからだ。これはなかなか無いことだと思う。僕はこの経験を無駄にせず、これからがんばりたいと思う。先生は子どもたちの笑顔を見て自分もがんばれるとおっしゃっていた。小学校教員は子どもが大好きでないと勤まらないと改めて感じた。先生だって大変なことはあるが、子どもたちの笑顔を見てがんばっていると思う。僕は今回のインタビューを通して、ますます小学校教員になりたいと思った。今後は、物事を公平に見られるようにすること、そして先生になるために勉強をしっかりすることを課題として、小学校教員を目指して頑張っていきたい。」(小学校教員について研究したN君)

「フィールドワークを通して、人の役に立つということがどれだけすばらしいかということを学んだ。こういう人たちのかんばりがあるって、生活できているということに改めて認識した。これからもっと人の役に立つように努力したい。またこの人たちを見習って生活していきたい。」(気象予報官について研究したM君)

「先生が歯科医になろうと思ったきっかけは、高校時代の友人だそうで、私は将来についてもっと深く考えさせられた。フィールドワークに行く前は、歯科医は歯の治療をするだけだと思っていた。しかし、歯科医は歯の治療を通して「食べる」ことの手伝いをし、その人の人生にも関わっていることを知った。また患者の笑顔を見たり、患者に感謝されることで、自分の技術により一層自信が持てるということを知った。」(歯科医について研究したMさん)

「以前、天文学者は夜も眠らずにコンピュータや観測データとにらめっこしている仕事だと思っていた。私は今回のフィールドワークを通して天文学者になりたいという思いが一層強くなった。なぜなら、天文学者は世界各国の人々と共同研究をしたり、会議などで意見を交換したりと、様々な人とふれあうことができる仕事だとわかったからだ。私がインタビューした研究者は、自分の好きな研究をし、様々な国の人々と交流してすごく輝いて見えた。天文学者に向いているのは‘偉い人になりたい’と思う人や好奇心旺盛な人なのだそうだ。

天文学者になるためには国語、数学、英語が大切だと聞いた。特に英語は論文を書いたり、国際会議などで発表したりする際に必要になるそうだ。これからは国数英の3教科を中心に勉強に励んでいきたい。そして日頃から人と話し、ふれあい、観察するようにしたい。コミュニケーション力を高めて、人前でも緊張しないで話せるようになりたい。目標は‘トップに立ちたい’‘偉くなりたい’というように高くする。目標や志を高くすることで

たくさん努力できる。そしてよく夜空を見るようにして、疑問に思ったことは本などで調べていきたい。私も将来、天文学者になって、だれも知らなかった発見をしたり、自分たちの研究チームをつくり、国際会議に出て様々な国の人々と交流したり、共同研究をしたりして、他の人が私を見て‘輝いている’と思われるような天文学者になりたいと思った。」(天文学者について研究したKさん)